

# 金武町立図書館

## 「慰霊の日」特別企画展および映写会のお知らせ

金武町立図書館では、6月23日の慰霊の日を迎えるにあたり、平和の大切さについて認識を深める機会になることを願い、企画展を開催します。

関連する資料をそろえておりますので、この機会にぜひ図書館へ足をお運びいただきますようご案内いたします。

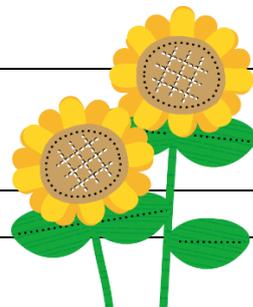
### 慰霊の日特別企画展

テーマ	『宮森小学校ジェット機墜落事故 パネル展～奪われた幼い命あの日から65年～』
期間	令和6年6月21日(金)～7月17日(水) ※休館日:毎週月曜・6月23日(日)・7月16日(火)
場所	金武町立図書館
協力	NPO法人石川・宮森630会
対象	金武町民・児童・生徒・図書館利用者・その他
内容	事故後の写真、関係者の証言等のパネル、事故に関連する図書館所蔵資料(図書・DVD)の展示を行います。

## 金武町立中央公民館と共催企画

### 慰霊の日映写会

タイトル	『ひまわり～沖縄は忘れない あの日を～』
内容	1959年6月、沖縄・石川市(現うるま市)宮森小学校に米軍ジェット機が墜落炎上し、児童や近隣住民から多くの犠牲者を出した事故をもとに映画化された作品。
対象	一般・児童
映像種類/時間	実写映像／110分
日時	6月29日(土) 1回目:午前10時～ *2回上映* 2回目:午後2時～
場所	金武町立中央公民館(大ホール) ※入場無料



金武町立図書館 慰霊の日特別企画展

# 宮森小学校ジェット機 墜落事故パネル展

～奪われた幼い命 あの日から 65 年～

展示期間:令和6年6月21日(金)～7月17日(水)

場 所:金武町立図書館

協 力:NPO 法人石川・宮森630会



米軍到着前 石川市民だけの状況  
写真提供 當山實彦氏



エンジンの一部が突っ込み三人の  
子どもがなくなった六年三組の教室  
写真提供 キーストンスタジオ



米軍が到着し  
石川市民を排除した後の状況  
写真提供 當山實彦氏

## 開館時間

火～金:午前 10 時～午後 7 時

土・日:午前 10 時～午後 5 時

休館日:月曜・6月23日(日)

・7月16日(火)

# \*映写会\*

## ひまわり

— 沖縄は忘れない あの日の空を —

日時: 6月29日(土) 2回上映 入場無料

1回目: 午前10時~

2回目: 午後2時~

上映時間: 110分

上映場所: 金武町立中央公民館

(大ホール)

金武町立図書館と

金武町立中央公民館の共同企画

40年 企画作品  
沖繩復帰

ひまわりを愛する  
幼い少年の夢も、  
少女の未来も、  
一瞬のうちに  
奪われてしまった…

映画  
ひまわり

～沖繩は忘れない、あの日の空を～

長塚京三 須賀健太 能年玲奈 福田沙紀

鈴木裕樹 (D-BOYS) ヒガリノ 徳元裕矢 戸井智恵美 河口明里 小林優斗 綾田俊樹 吉田妙子 北島角子 八木政男 宇座仁一 小嶺和佳子  
伊波大志 あさと愛子 瀬名波孝子 玉城盛義 小波津正光 山城智二 桑江テル子 知念勝三 仲本紫野 比嘉雪乃 祖堅かなえ 宮里京子  
(子役) 金森喜祐 兼城夏穂 神谷優羽雅 新垣春一 宮平和也 照屋舞 當銘愛佳 崎原琉希 屋我優輝

監督：及川善弘 企画・製作：桂壮三郎 製作：本村初枝 原案：証言集「沖繩の空の下で」石川・宮森 630 会編 脚本：大城貞俊、山田耕大 脚本協力：宜野座由子 プロデューサー：森田勝政  
撮影監督：前田米造 (J.S.C) 撮影：岩崎登 照明：赤津淳一 録音：北村峰晴 編集：奥原好幸 美術：春木章 音楽：山谷知明 視覚効果：田口清隆 スクリプター：堀北昌子  
キャスティングプロデューサー：松永 琴 協力プロデューサー：山本洋 宣野座映子 助監督：中里洋一 装飾：相田敏春 小道具：中村輝宏 方言指導：今秀子 主題歌「ひまわり」Civilian Skunk  
映画「ひまわり」製作委員会：ゴーゴージャナル企画、沖縄県映画センター ノベライゼーション：ひろはたえりこ (汐文社刊) 配給：映画センター全国連絡会議、ゴーゴージャナル企画 宣伝：トラヴィス  
制作協力：青銅プロダクション 製作支援：映画「ひまわり」を成功させる沖縄県民の会 映画センター全国連絡会議、大阪教映社、中国共同映画

<http://www.ggvp.net/himawari/>

110分 / 日本 / カラー / デジタル / ステレオ / ビスタ  
©2012 映画「ひまわり」製作委員会



# 映画 ひまわり

～沖縄は忘れない、あの日の空を～

沖縄の方たちが本当の笑顔を取り戻すまで、  
私たちはしっかりとサポートしなければなりません。  
「ひまわり」の製作に期待しています。  
吉永 小百合 さん(女優)



## ジェット戦闘機は炎上しながら校舎へ激突した—— ——繰り返される沖縄の悲劇

### 解説

沖縄県民の4人に1人が犠牲になった沖縄戦から生き延びた県民は、復興に向けて今度こそ戦争のない平和な時代を迎え日常の暮らしを守るために一生懸命に働いていた。その矢先の1959年6月30日、突然、米軍のジェット戦闘機が石川市(現うるま市)の住宅街へ墜落し、民家を押つぶしながら、宮森小学校の教室に炎上しながら激突した。住民6名、学童11名(後に後遺症で1名死亡)の尊い命を瞬時に奪い重軽傷児童154名、住民56名を出す大惨事となった。そこはまるで地獄のような光景だった。沖縄戦で多くの命を失った県民にとって子どもたちは正に希望の星であった。基地さえなければ尊い命を犠牲にすることもなかったと遺族をはじめ県民の嘆き悲しみは尽きることなく53年たった今日まで続いている。

沖縄の戦後は、はじめに米軍基地ありきであった。その後、サンフランシスコ講和条約等によって日本は独立したが、米軍の沖縄占領は続いた。1972年に日本に返還されたが、その後も

米軍は駐留を続け、今日まで、日米両政府は沖縄に多大な基地を押しつけ県民へ犠牲を強いている。米兵による少女暴行事件、沖縄国際大学へのヘリコプター墜落事件等々危険な基地被害は後を絶たない、なぜ沖縄から基地はなくなるのか、これは沖縄だけでなく、平和憲法を持つ日本の問題でもある。今回の映画製作は基地沖縄の現実を描く入魂作である。

主人公山城良太には、誠実で思慮深く渋味のある演技で定評ある長塚京三が沖縄の悲劇に挑む。沖縄の基地問題で苦しむ女子大生の城間加奈を演じるのは、2013年4月より放映されるNHKの朝ドラのヒロインに抜擢された人気沸騰中の能年玲奈が演じる。また、本土と沖縄のベテランの映画、演劇人が多数出演している。

監督は、新進気鋭の及川善弘が担当する。撮影監督に「お葬式」「マルサの女」等伊丹十三作品を数多く手がけた前田米造が担当。企画・製作は「アンダンテ船の旋律」の桂壮三郎が担当している。

### ストーリー

激しい爆音とともに米軍のヘリが沖縄国際大学へ墜落した。事故現場を見た山城良太は、45年前の石川市の空を思い出していた。

良太は宮森小学校6年生で仲良しの茂と豊と二年生の一平達と元気に遊び回っていた。良太のクラスに宮城広子が転校してきた。良太の心は華やいた。

青い空の下で沖縄の人々は一生懸命に生きていた。1959年6月30日、突然、米軍のジェット戦闘機が、炎上しながら民家と小学校へ激突した、悲鳴を上げながら逃げまどう子どもたち、良太は広子を助けようとしたが既に息絶えていた。校庭には一平の変わり果てた姿があった。

それから53年目の2012年、年老いた良太は妻を失った娘の家で暮らしていた。孫である大学生の琉一はゼミ仲間と共に宮森小ジェット戦闘機墜落事件のレポート活動を始めるが、宮森事件の傷跡は今も深く遺族の心を苦しめている。

琉一たちは、基地と平和を考えるピースフルコンサートの開催を決意するのだが……。



40年 沖縄復帰  
半 企画作品

本作は、沖縄復帰40年作品として企画され、沖縄県映画センターが製作として加わり、代表の本村初枝がプロデューサーを担った。沖縄では、製作を成功させる沖縄県民の会が発足し、県民総意の映画製作支援の活動が旺盛に展開された。又、製作運動は全国でも展開され、うねりが広がっている。

撮影は2012年の6月から8月、灼熱の沖縄で敢行された。

AY OF ISSUE



沖縄県推奨映画

文部科学省選定